

草津市ガーデニング推進事業 第2弾

ガーデニングツアー



□日時 平成24年6月16日(土) 8時30分～16時

□講師 高田昇(立命館大学教授・タウンマネージャー)

□アシスタント 嶋かずみ(COM計画研究所植栽担当主任・一級造園施工管理技士)

□プログラム

- | | |
|-------------------------------|-------------|
| (1)草津市 → 神戸・トアロード(移動) | 8:30～10:00 |
| (2)トアロード見学 | 10:00～10:50 |
| (3)トアロード → 新長田・大橋7丁目再開発ビル(移動) | 10:50～11:10 |
| (4)大橋7丁目見学(住民の方との交流を予定しています) | 11:10～11:40 |
| (5)大橋7 → 西宮ウーバレガーデン(移動) | 11:40～12:00 |
| (6)ウーバレガーデン(ランチ) | 12:00～13:00 |
| (7)ウーバレガーデン → 宝塚(移動) | 13:00～13:30 |
| (8)宝塚・英国風ナチュラルガーデン「シーズンズ」見学 | 13:30～14:30 |
| (9)宝塚 → 草津市(移動) | 14:30～16:00 |

■見学のあらし

1. トアロード地区(神戸市中央区)

- (1)ミナト・神戸を代表する「海と山をつなぐ坂道」にある国際的な商店街。
- (2)神戸開港後、外国との交易の拠点となる「旧外国人居留地」とそこで働く人たちの住まいがある「北野」をつなぐ道として発達。
- (3)震災復興の中で、住民主体で「トアロード地区まちづくり協議会」を設立。「まちづくりビジョン」を策定し、その柱に「景観まちづくり」「コミュニティガーデンプロジェクト」を据える。
- (4)これまでに、102件の景観形成市民協定に基づく協議がされ、それらを通じてトアロードにふさわしいガーデン空間を沿道に点在させてきた。街角には「コミュニティガーデン」風の庭”を制作、地元住民により維持・管理されている。

2. 新長田・大橋7丁目再開発ビル アスタピア新長田ウイズコート(神戸市長田区)

- (1)震災復興再開発地区として神戸市より指定された。
- (2)当初住民の反対運動があったが、その後「大橋7丁目地区まちづくり協議会」をつくり、地元としての「まちづくり提案」を策定し、神戸市と協働による再開発を実施。
- (3)計画のテーマとして、「エコシステム」「コミュニティ」「ナチュラルガーデン」を掲げ実施。10年経った今でも住民によるガーデン管理が続けられている。

3. ウーバレ ゴーデン(西宮市)

- (1)スウェーデン語で「庭を越えたところに」という意味。
- (2)オーナーは日本盛株式会社。「シンプル」「モダン」「ナチュラル」をキーワードに、料理、カトラリー、空間、ガーデンなどすべてにおいて反映されている。
- (3)企画、プロデュースから、設計、ガーデン、料理、家具・小物、アートなど各分野のプロがコラボレーションしている。
- (4)特にガーデンは、ランドスケープアーキテクトとして有名な二見恵美子氏による。代表的作品に、OCAT屋上ガーデン、朝日放送新社屋新築プロジェクト、四天王寺庭園、京都光華女子学園屋上庭園など多数。

4. 英国風ナチュラルガーデン「シーズンズ」(宝塚市)

- (1)阪急の遊園地が廃園された跡地を、自然なイングリッシュガーデンに変更。(2003年秋オープン。)
- (2)ガーデンデザイナーは、イギリス出身で英国・米国でガーデニングを学んだポール・スミザー
- (3)従来の「花いっぱい」の遊園地型ガーデンではなく、「日本の色彩や形と調和する庭づくり」をテーマに、約1500種の植物を取り入れ、池や川といった水辺の楽しみも演出されている。

■神戸・トアロード

(1)トアロードエリアマップ



(2)ワコーレ ザ・トアロードレジデンス(景観形成市民協定に沿った民間マンション計画事例)

サンクチュアリとしての共用スペース。

LANDSCAPE DESIGN | WAKOHRE The TORROAD RESIDENCE

LAND PLAN



Landscape Design

悠々たる敷地に描かれた、 個性的なシルエットの3棟構成。

広々とした5,329.13㎡の敷地に、多彩な生活様式に対応する3棟構成。シンボリックな八角形の住棟が邸宅の顔となるトアロードに面した“トアサイドコート”、最も高いシェイプを与えた全戸南向きの“セントラルコート”、山の手側に配置された“ヒルサイドコート”。立地の特性を読み込み、都市邸宅に求められる動と静を明確に描いたプランニングです。

GREEN PLAN

六甲山系の瑞々しいグリーンに近く、しかも落ち着いた邸宅街という、神戸北野・トアロードならではの景観との調和を考慮し、敷地内の随所にさまざまな植栽をレイアウトしました。住まわれる方はもちろん、周辺の方々の暮らしにも、花や樹木の潤いをお届けする計画です。

<COM計画研究所>

地域計画から都市景観創造、空間・ガーデンプロデュースまで幅広い分野を手掛けるCOM計画研究所が植栽計画を担当。現在、立命館大学教授(政策科学部)であり、トアロード地区まちづくり協議会顧問の代表・高田 昇氏により1970年に設立。

■主な受賞歴

- 1976年 日本都市計画学会賞 (豊中市庄内地域住環境整備計画)
- 1988年 神戸市建築文化賞(名谷コープタウン計画)
- 1990年 神戸市建築文化賞 (コーポラティブハウス神戸・1計画)
- 1991年 きらめき大津賞(大津市仰木団地・榛小路計画)
- 1993年 日本建築学会賞(関係建築賞) (神戸市・西神ニュータウン・アーサヒルス計画)
- 1997年 大阪市ハウジングデザイン賞 (帝塚山コーポ・アルス帝塚山建替え計画)

トアロード山の手の景観に潤いを添える植栽計画。



QUALITY OF RELAXATION

穏やかな日々を紡ぐ、品位ある寛ぎの場。

GUEST ROOM | WAKOHRE The TORROAD RESIDENCE



外観完成予想図

Private Terrace & Roof Balcony

私邸の趣をさらに高める、
プライベートテラスやルーフバルコニー。

セントラルコートとヒルサイドコートの1階住戸（一部タイプ除く）には、邸宅としてのゆとりをより一層実感していただけるテラスや専用庭をご用意しました。テーブル&チェアを置いて、アウトドアリビングをお楽しみください。また、ルーフバルコニーを設けたプランもご用意するなど、開放感と私邸の趣を高めました。

Garden of The Star Suite

プライベートガーデンをレイアウトした、
ゲストルーム“ザ・スタースイート”。

ご友人をはじめ、お招きになったゲストにご宿泊いただける“ザ・スタースイート”。キッチンやバスルームなど必要な設備を整え、ホテルのスイートルームのようにゆったりと滞在していただける機能を備えたゲストルームです。また、ゲストやご入居者と賑やかに過ごしていただけるパーティールームとしてのご利用も可能。居室の外にはご利用者の方だけのプレミアムスペースとしてハーブをはじめ豊潤な植栽を設けたプライベートガーデンをご用意。緑の潤いを感じる開放的な空間を演出しました。

※利用料金・予約方法等、詳しくは係員にお尋ねください。



プライベートガーデン完成予想図

(3)トアロード地区・景観形成市民協定(抜粋)

トアロードの沿道の景観を守るために

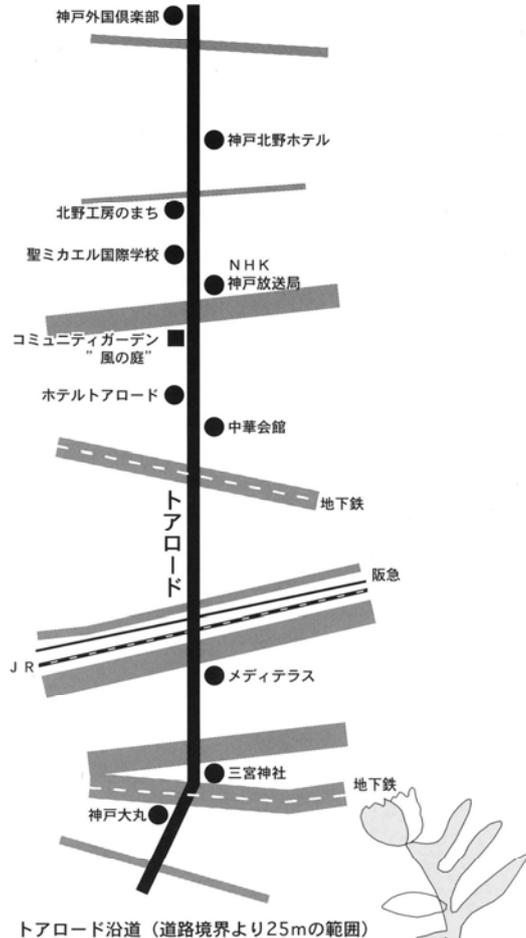
名称 トアロード地区・景観形成市民協定

目的

神戸が世界にひらかれた都市として発展してきた歴史の中で、港、外国人居留地といった仕事場と、北野界隈の住まいとをつなぐ道として生まれ「神戸の絆」ともいえるのがトアロード地区です。

このような歴史を刻んできたトアロード地区では、南北にのび、陽のあたる坂道として海と山を感じられるまち、エキゾチックでインターナショナル、いろんな国の人と文化が交流するまち、というトアロードらしい特徴を発揮することをめざしています。

そのためには、快適で個性ある都市景観をつくりだすことをめざし、楽しく、調和ある建物やショップのファサードをつくり、緑や花をふんだんに取り入れるとともに、看板や広告類は上品で秩序あるものとし、ゴミのない美しい道とすることを目的とします。



トアロード地区・景観形成市民協定

(目的)

第1条 この協定は、第3条に定める区域内において、建物や敷地の整備ならびにこれと関連する事項を地元関係者間で協定し、地区固有のまちなみ景観をまもり、育て、ひいては地区の総合的環境の向上に資することを目的とする。

(名称)

第2条 この協定は、トアロード地区・景観形成市民協定(以下「協定」という。)と称する。

(協定の位置及び区域)

第3条 この協定の対象となる地区(以下「地区」という。)の位置及び区域は以下のとおりとする。

- 神戸市中央区山本通3丁目及び北野町4丁目より南で、三宮町2・3丁目より北のうちトアロード沿道25mの範囲

(まちの将来像)

第4条 地区の目標とするまちの将来像は、次の各号に定めるとおりとする。

- 品格と魅力があり、花と緑のあふれる美しいまち
- 国際性をもつファッショナブルなまち
- 世代を超えてつづえるまち

(まちなみづくりの基本方針)

第5条 地区のまちなみづくりの基本方針は、次の各号に定めるとおりとする。

- 商業機能、文化、情報、交流機能、居住機能が調和しつつ共存するなかで、複合的、総合的な環境向上をめざす。
- 歴史や立地条件等の地域特性に配慮したまちなみづくりを推進する
- ものづくりとルールづくりの両面から、住民、企業、行政が協働して個性あるまちなみづくりに取り組む。

(建築物等の用途の制限)

第6条 次に掲げる用途の建築物等を建築してはならないものとする。

- パチンコ屋、ゲームセンター、娯外車・馬・船券売場その他これらに類するもの
- 個室付浴場業、テレホンクラブ、ラブホテルその他これらに類するもの
- 反社会的な組織、団体その他これらに類するものの事務所等

(まちなみ景観への配慮)

第7条 建築物等の新築、増築、改築、撤去、大規模の修繕、宅地の造成その他の土地の形質の変更その他まちなみ景観の形成に影響を及ぼすおそれのある行為をするものは別表1に示すまちなみ形成のルールに適合するよう努めるものとする。

(敷地の緑化)

第8条 協定者は、自己が所有もしくは管理する敷地の緑化に努めるものとする。

(その他の活動)

第9条 協定者は、地区内の清掃活動や緑化運動等、美しいまちなみを形成・維持するための活動を互いに協力して推進するものとする。

(委員会)

第10条 協定の運営に関する事項を処理するため、協定運営委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

2. 委員会は「トアロード地区まちづくり協議会」役員会が当たるものとする。

第11条 委員会に次の役員をおく。

- 委員長 1名 副委員長 若干名 会計 1名 事務局 若干名
- 委員長、副委員長、会計、事務局はそれぞれ「まちづくり協議会」の会長、副会長、会計、事務局が兼務する。
- 委員長は、委員会を代表し、協定運営の業務を総括する。
- 副委員長は、委員長に事故あるときはこれを代理する。
- 会計は、委員会の経理に関する業務を掌理する。
- 事務局は、委員会の事務を処理する。

第12条 協定者は第7条に関わる行為をするにあたっては事前に委員会に相談し、委員会は建築活動等の計画内容が本協定に適合することを確かめることとする。

(有効期間等)

第13条 協定の有効期間は5年以上とし、協定者の総意を計った上で、委員会が定める。

2. この協定について変更する必要があるとき、又は新たに定める必要が生じたときは、第1項に準じた取り扱いとする。

(付則)

第14条 この協定は、平成9年4月28日より有効とする。

トアロード地区景観形成市民協定は、1997年4月にトアロード地区まちづくり協議会により締結され、1998年10月に「神戸市都市景観条例」により神戸市の認定をうけました。同時にトアロード地区まちづくり協議会は同条例による景観形成市民団体として認定されています。

まちなみ形成のルール

「景観形成市民協定」のなかで、まちなみに関係する建築等をしようとするときは、下の別表1にある「ルール」に沿って行なうようになっています。

□別表1

景観構成項目		基準（ルール）
街路	緑化	<ul style="list-style-type: none"> トアロード沿道では、道路に面した敷地は原則として緑化することとし、緑の面でもシンボリックな空間となるようにトアロードにふさわしい樹種による緑のボリュームアップを行なう。
	花・プランター	<ul style="list-style-type: none"> トアロード沿道では、トアロードらしさや四季を感じさせるとともに、メインストリートにふさわしい華やかで気品のあるイメージに調和する花やプランターを設置する。
	看板・広告物	<ul style="list-style-type: none"> 看板・広告物は、表示面積及び掲出数は必要最小限とし、歩行者空間を妨げないようにする。 看板・広告物は、けばけばしい色はさげ、壁面の色と調和させ、表示文字マーク等デザインの工夫に努める。 電柱、電話ボックス、アーチ、ストリートファニチュア、囲い、塀等には「広告・ちらし」をつけないこととする。
	自動販売機	<ul style="list-style-type: none"> 自動販売機の色は、まちなみや建物に調和するものとし、空き缶回収に努める。
	ゴミ対策	<ul style="list-style-type: none"> トアロード沿道には、路上に私的なゴミ箱を設置しない。 トアロード沿道においては、ゴミ・たばこ・空き缶のポイ捨て、放置は一切しない。事業所等のごみ袋は決められた日時、場所以外には出さないこととする。
敷地	駐車場・空地	<ul style="list-style-type: none"> トアロード沿道の駐車場や空道をまちなみと調和するように修景する。
建物	建物の形態	<ul style="list-style-type: none"> 国際性をもつファッションブルなまちにふさわしいデザインとする。 低層部の形態は、歩く人にとって楽しいものとなるように努める。
	建物の色彩デザイン	<ul style="list-style-type: none"> 建物の色彩デザインなどをまちなみと調和させる。
	夜間・休日の照明・シャッター	<ul style="list-style-type: none"> トアロード沿道のお店は、夜間や休日にショウウィンドウを照らしたり、シャッターに工夫するなどして、ウィンドウショッピングできるようにする。
	テント・フラッグ	<ul style="list-style-type: none"> 店舗等には、できる限りトアロードにふさわしいイメージのテント、フラッグをとりつける。

□ガーデニングコンセプト

テーマ ■ インターナショナル&ナチュラル

カラー ■ パープルを基調とするカラーコーディネート。
紫・青系の花をベースに、白・黄色などパープル系に調和する花色にプラスポイント色

植栽 ■ 国際的な自然感覚の樹木（オリーブ・ミモザ・シマトネリコなど）
■ 季節感のある低木（コデマリ・ローズマリー・エリカなど）
■ お洒落感のある草花（ハーブ・サルビア・スマレなど）

のミックスにより、立体的でまちを引き立たせる植栽プランとする



□工事期間中のご協力をお願い

工事中の仮囲い ■ 建築工事等の際に設置する工事中の仮囲いには、トアロードらしい気品あるイメージに調和するデザインを施し、工事期間中でも明るく楽しい雰囲気づくりに努める

■新長田大橋7丁目再開発ビル(アスタピア新長田ウイズコート)

(1)地区の概要

阪神大震災で大きな被害を受けた長田地区のなかでも、特に壊滅的な被災地である当地区は、復興再開発の区域に指定された。

この街区では、コミュニティと環境をテーマとする計画が住民参加により作成され、神戸市によって事業化された。

(2)まちづくりの特徴

構成／住宅、コミュニティ施設、店舗

コミュニティ施設として、共同で利用できるキッチン、ライブラリー、研修室、多目的ホールなどがつくられている。

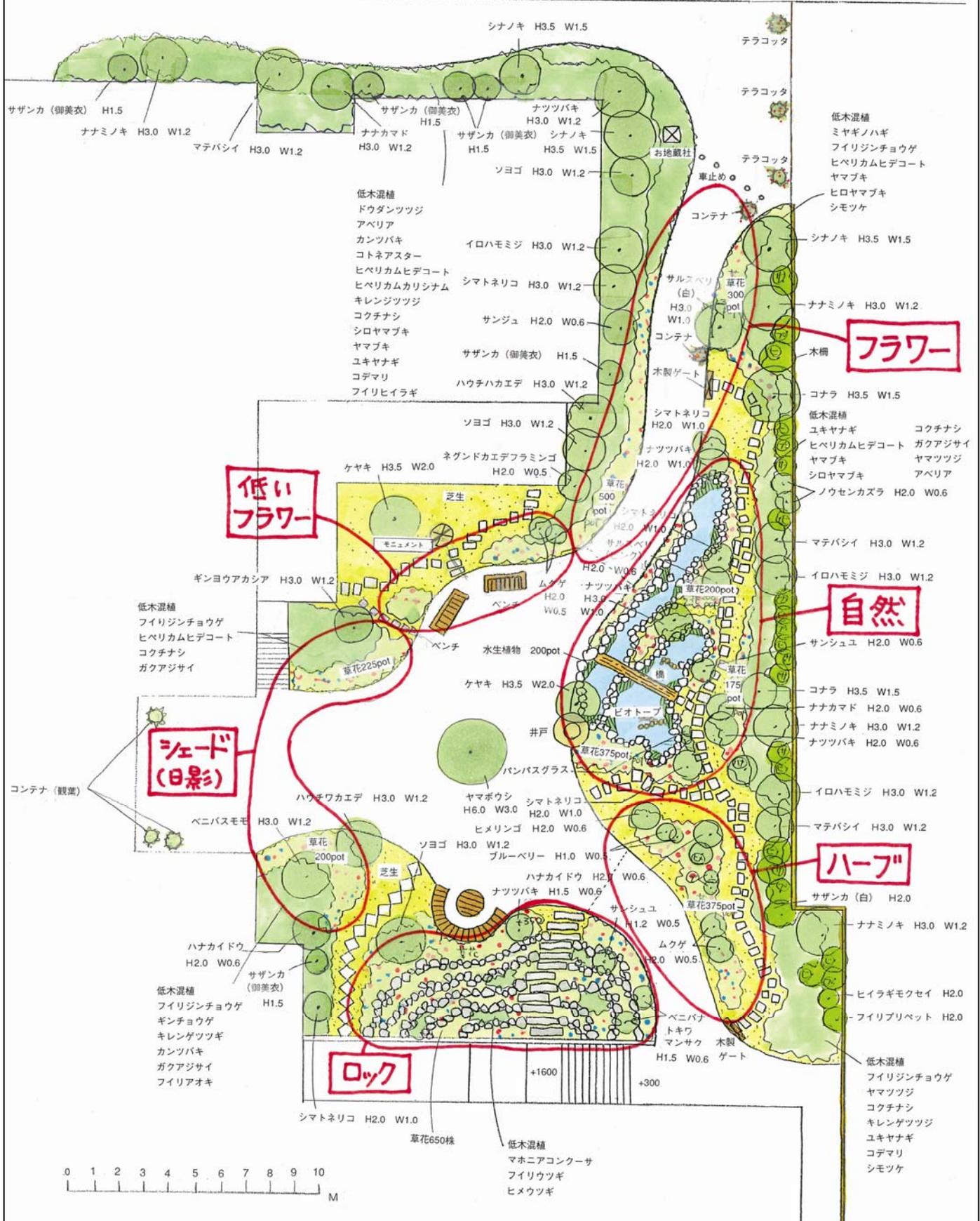
敷地利用として、都心部に自然回復をめざす目的でビオトープ、せせらぎを含むナチュラルガーデンがつけられた。あわせて井戸水利用や雨水利用、透水性舗装といったエコシステムが多く取り入れられている。

■事業主体：神戸市 ■事業推進：大橋7丁目地区まちづくり協議会

■事業コーディネート：COM計画研究所 ■設計：石本建築事務所



● 中庭植栽



中庭

■西宮・ウーバレ ゴーデン (西宮市用海町 4-36)

TEL 0798-32-2567 <http://www.ugi.jp/>

1. コンセプト

スウェーデン語で「庭を越えたところに」という意味。

お店の前庭を越えたところに素敵な食空間と美味しい料理があるという思いを込める。

2. キーワード

「シンプル」「モダン」「ナチュラル」



3. 大切にしていること

「生産者の顔が見える」「地産地消・国産」「無農薬・無化学肥料栽培」

4. イベント・朝市

毎月1回の朝市や、ワークショップ、企画展、ガーデンウェディングなどを展開している。



5. コラボレーション

・オーナー／日本盛株式会社

・企画、プロデュース、運営株式会社／iop 都市文化創造研究所

オーナーの日本盛の CI となるお店としてコンセプトワークを行い、今回のプロジェクトにふさわしい各分野のプロの方々と共にお店作りを行う。まちづくりを中心に行っているが、まちづくりの延長線上に地域に根ざした「みせ」づくりをと考えている。レストランとしての食空間にとどまらず、イベントなどを展開しているんな形で利用できるよう考えられている。

・設計／志柿建築設計事務所

このレストランは、様々なデザインがあつまって出来ている。料理、ガーデン、グラフィック、テーブルコーディネート、アート、家具・・・建築は異なるジャンルを一つにまとめる器として、レンガと木を基調とした控えめな表現で、全体の構成を際立たせることに徹している。南北、それぞれの庭はホールに開放的な雰囲気を演出するとともに、道路から北庭まで見通せる深い奥行きが、街並みから切り取られた「別世界」を生み出すことをねらっている。



・ガーデン／E.M.I project 二見 恵美子

店のコンセプトに基づき、シンプルで気持ちのいいデザインになっている。白く透明感のある建物とピタリな小豆島からやってきたオリーブがとても印象的。そのオリーブを始め、レモンの木、ハーブなど季節になると庭で目を楽しませてくれた植物が、料理にも生かされている。



・料理家・フードコーディネーター／平山 由香

「ナチュラルキューズ」のコンセプトを立てて、季節を大切にしながら優しい味をコンセプトに豆や雑穀の新しい食べ方を提案するなどジャンルにとらわれない料理コンセプトを提案。また「大人のカジュアル」がテーマのテーブルコーディネートは上質でセンスがありより食事を楽しませてくれる。



・グラフィック工芸家／井上 由季子

ロゴ・マークを始めグラフィック全般とプロダクトを担当。普段から手を加えることを大切にモノづくりを行っており、ロゴマークも手書きならではの優しさと温かみが伝わるものに。ロゴマークは、その年の新酒ができた目印に酒造メーカーが玄関先に飾る「杉玉」をイメージしている。玄関の看板や店内のサインやオブジェなどのプロダクトも透明感のあるデザインとして存在。



・家具・小物／うたたね

永く使うのに適していてどんどんよい味が出てくるという無垢のオーク材を使った家具はとても優しく体にフィット。ウギとうたたねのコンセプトで天然のオイルフィニッシュ(子供が口に入れても安全)で仕上げた家具は呼吸をしているので少しやんちゃで手がかかるが実際に触れていただくと良さが伝わる。カトラリーレストやメニューブック、照明などうたたねの温かい小物がたくさんある。



・アート／Yuko Takada Keller

メインフロアの吹き抜けに、北の空の月をイメージしたアート作品“Moon Ship -from the north-”というタイトルの作品を担当。レストラン空間に浮かぶ北の空(デンマーク)からの月の船。その浮遊感と透明感は、食事をたのしみながら、またメニューを待つ語らいの空間に、ゆるやかなmovementとやすらぎを与えてくれる。



■宝塚・英国風ナチュラルガーデン「シーズンズ」

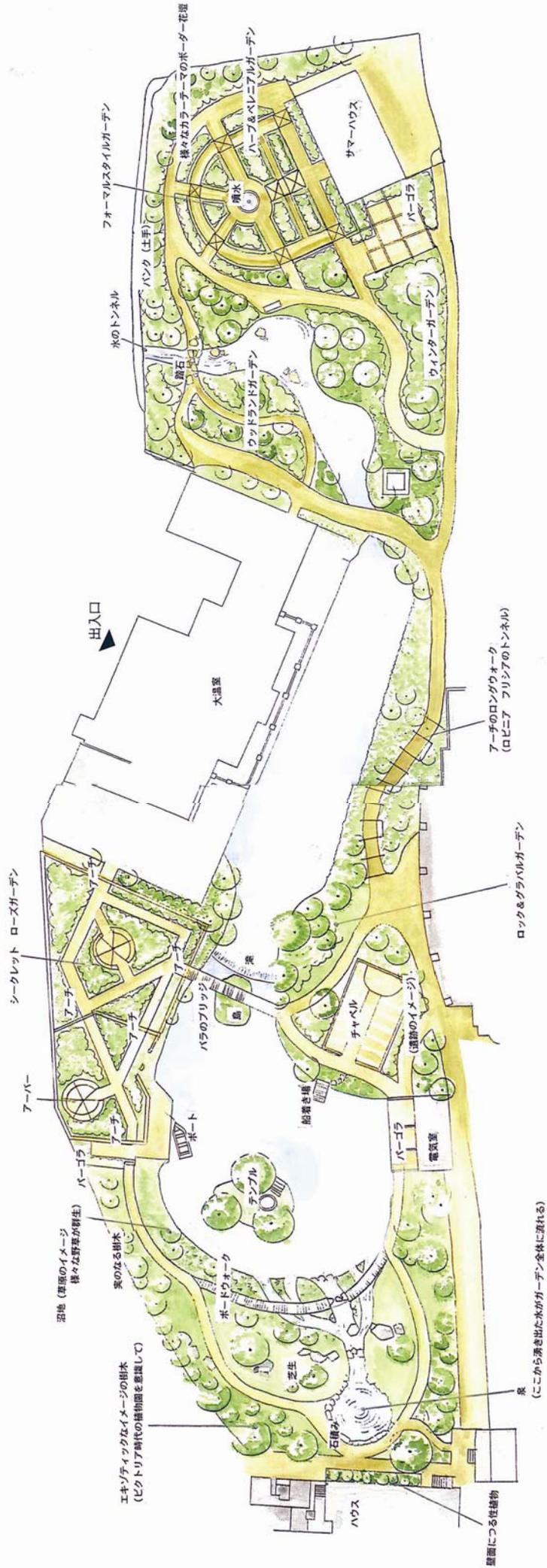
(兵庫県宝塚市栄町 1-1-57) 宝塚ガーデンフィールズ内)

TEL 0797-85-6210 <http://www.gardenfields.jp/garden/>

(1)ガーデンの特徴

英国人デザイナー ポール・スミザーが手がけた、宝塚の風土に合わせた約 1500 種の植物が完全無農薬で育てられている。ガーデンカフェやガーデニングショップのほかに、庭園ガイドツアーやガーデニングイベント、セミナーなども開催されている。





Garden Rooms

イメージ・ドローイング
by ボール・スミザー